

【教育委員会議事録】平成29年12月定例会

開催日時	平成29年12月26日(火) 15:00~16:00
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 藤井 悦子(教育長職務代理者) 児玉 典彦 林 俊作 伊東 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 萬松 佳行 教育部理事 伊藤 信彦 教育部次長 井上 成人 教育政策課長 藤田 信夫 学校教育課長 木下 満明 教育研修課長 三井 清 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 山野 正俊 生涯学習課長 中嶋 浩昭 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課長 高森 俊明 美術館長 中村 美幸 歴史博物館長 町田 一仁 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課長補佐 岡本 誠也 教育政策課主査 村田 浩樹 教育政策課主任 松富 潤
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】		
第54号 平成30年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について	P 5
第55号 平成29年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について	P 7
【専決事項】		
平成29年度教育予算の補正（12月）について	P 9
【報告事項】		
下関市生涯学習プラザの臨時休館について（報告）	P 9
明治維新150年記念行事「史跡が語る幕末の下関」の展示開催について	P 10
企画展「交流する神々・『浜出祭』の原点」の共同開催について	P 11
【その他】	P 12
【閉会の宣告】	P 13

【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

皆さんこんにちは。それでは、教育委員会12月定例会を開催いたします。

学校の方は冬休みに入って、子供達はクリスマスイブからクリスマスということで、大変楽しい日々送っているのではないかなと思っています。皆さん方のクリスマスはいかがだったでしょうか。

【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事録の署名は「児玉委員」「伊東委員」をお願いをいたします。

本日の日程は、日程1の議案が2件。日程2の専決の報告が1件、日程3の報告事項が3件、日程4その他となっております。

【教育長報告】

波佐間清(教育長)

では、議案第54号の審議に入る前に教育長報告を行いたいと思います。

それでは、2ページのレジュメを見ていただければと思います。資料2の「美しい教育のまち連合総会」及び「教育行政幹部職員セミナー」を12月1日金曜日、札幌の方で行いました。最初に美しい教育のまち連合の活動報告と先般、教育委員さんも訪問いたしました東神楽町の教育長 水野和男氏が、実践発表をされました。そして、その後の教育行政幹部職員セミナーに、私がフィンランドに行った時に訪問した学校、ケヴァットクンプ小学校の校長先生が来られまして、講演をされました。「フィンランドにおける教育長・学校長が直面する新たな課題とそれらへの取組」ということで、講演をされました。フィンランドは、日本とはかなり行政の仕組みも違っていて、教育予算等について教育委員会よりも学校の方が、どちらかというところを持っていて、直に予算がくるシステムもあるということで、フィンランドについて、我々とは直接的には参考にならない面もあるのですが、学校自ら実施する力といいますか、そういう面で非常に力がある。向こうで教育長にも会いましたけれど、調整役という程度の役割で、学校の現場の校長先生の方がある意味力を持っていると。そういう中で、フィンランドにも、様々な課題があるわけですが、言葉の指導、フィンランド語と英語教育の二極化している面。したがって、私達が訪問した小学校も、フィンランド語専用の小学校と英語専用の小学校が2つ併設している学校で、2人の校長先生がおられるというような感じであります。また、ヨーロッパには移民がたくさんいます。そういう人達への対応の在り方とか。フィンランドはかなり進んだ教育を進めておられますけれど、そういう中でこれからそれらをどのように具体的に解決をしていくかと、そういうようなお話を色々いただきました。まだまだ詳しいことは皆さん方に報告書をおまとめしてお渡しをしておりますので、皆さん方も色々感じておられると思います。また、元兵庫教育大学の学長である加治佐哲也氏がその後講演をして、今の「教育改革と教育行政トップリーダーのあり方」ということで、教育長が参加している会議ですので、教育行政のトップとしての在り方について、激しい口調で意見を言っておられました。私達もなかなか刺激的な発言を色々聞きまして、今現在、加治佐さんは国立の高専の機構におられて、高専というところもなかなかユニークで面白いぞという話をかなりされました。今は、高専を卒業して大学3年生へ編入する道を辿っている人が非常に多いということで、高専の話もかなりしていただきました。詳しい話をしていくと、これだけで1時間くらいになりますので、こういうことがあったという報告に代えさせていただきます。

それから12月は第4回の定例会ということで、12月4日から19日まで、市議会が開催されて、そこに書いてありますように、補正予算、それから学校図書館司書の全校配置に関する請願というのが議員さんの方から出ております。それから私共の報告として、吉母・吉見小学校の給食の親子方式への変更、それから青年の家等の使用料の減免について、それから図書館基本計画の策定について報告、そして国指定天然記念物「川棚のクスの森」の現地調査の報告と対応に

ついてということをご報告いたしました。あと、協議の方はそこに塗装事業の推進について、これは要望ということでもあります。一般質問は12日から18日まで26の方が質問に立たれて、そのうち半分の13人が教育に関して質問をされました。そこに大きな項目をずっと書いておりますが、例えば、「公民館を誰もが使える施設にするために」ということ、「政策決定と市民参画のあり方」、これは図書館基本計画の策定と兼ねてということでの質問でありました。それから、「米飯給食の現状と今後の取り組みについて」、また「教育・子育てについて」ということで、給食や語学についての質問がございました。次のページに農業の現状、これが先ほどの米飯給食との絡みのお話であります。また、「文化財保護行政と学校施設の有効活用について」。それから、「2020年東京五輪・パラリンピックに向けて」の中で、特に五輪マスコットについて各学校で投票が行われること、3つのキャラクターが出たと思いますが、そのことについての質問。それから、文化芸術の振興についての質問。アール・ブリュットの普及啓発の支援について。これは東京五輪・パラリンピックについての関連質問でありました。それから、「学校図書館司書について」の質問がかなり出ておりました。また、明治維新150年事業について、「小・中・幼・保における防災の取組」について、「コミュニティ・スクールについて」、「15才の学力と生活について」、「図書館について」、来年度の予算についてということ。それから、「図書館基本計画の策定について」は、パブリックコメントや目標値の設定、利用者の懇談会の開催についてというような質問がございました。議会は以上であります。

次に12月16日に恐竜の卵化石展示公開記念講演会とミニシンポジウムを考古博物館で行いました。そこに書いておりますが、定員が一応130人という予定でありましたが、非常に関心が強く、130人を遥かにオーバーして、当日多くの方々が来られました。大変嬉しい悲鳴でありましたが、それだけ関心が強く、皆さん方が来られたという状況であります。記念講演として、福井県立の恐竜博物館の今井氏が講演をされました。また、ミニシンポジウムという形で、卵化石について発見者である清水好晴氏がパネラーとして来られて、そこに今井氏や美祿市の化石館の高橋さん、それからホテルの里ミュージアムの川野さん、コーディネーターに山大の名誉教授の西村氏がされました。前の日に清水氏は市長表敬をして、市長さんに報告をされ、ご挨拶をされたところであります。このような状況で、非常に関心が強く、児玉委員さんは行かれたのですよね。また何かありましたら後でお願いします。

それから、「第18回手をつなぐみんなの福祉フェスタ」ということで、海峡メッセで催しがありました。私も行って挨拶をさせていただきました。福祉のフェスタですので、障害者の皆様方の色んな作品の展示や販売、そして色んなイベントもありましたので、大変盛会でありました。入場するのに駐車場が満杯で入場することができないくらい、大変な盛況でありました。

それからその次に、今日ですが、「全国の算数授業研究会 in 下関」ということで、朝から今も一の宮小学校において行われています。筑波大学の附属小学校の田中先生、今副校長先生ですが、田中先生が中心となって今年で第20回ですが、全国から定員300人の予定のところ、今450の方が来ておられます。授業を見るのにもう満杯で、廊下もあふれて、そんな状況で熱気ムンムンでありました。午前中2コマの授業があり、その授業に対してその後すぐに討論会をやって、それを2コマやっていました。午後からは今度は筑波の先生が、体育館と大きい広間で研究授業を公開されました。その時には、450人が2つくらいに分かれて授業参観するので、熱気は大変だろうなと思います。私、昨日前日役員会の会があつて、全国からいらっしゃった方々と色々話をしました。今日は文科省からも教科調査官が昨日から来ておられて、算数・数学教育のNo.1の方が来られた。それから学力調査員の文科省の方も来られていまして、その人達は一応来賓という形ではありますが、特に来賓扱いをするというようなことではなくて一般の感じで参加されています。筑波の先生方が中心となって、全国の算数教育に力のある先生が飛び入りで授業を公開するという格好なので、中々見ることができない研究会であります。これに関わっておられる会長の田中先生は、元山口県の教員で筑波に行く時に、私はバックアップをして彼を筑波に送り出しました。そういうこともあつて、彼も故郷に錦を飾りたいという思いもあつて、「下関で是非全国大会をやりたい」と、去年から言っておられて、実現をしたということでもあります。今実際、一の宮小学校の方でそういうことが行われております。

教育長報告は以上で終わりますが、教育委員の皆さんでこの他のこと、ここにあげたことも含

めて何かご意見がありましたらお願いをいたします。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

私、恐竜の卵のミニシンポジウムに参加させてもらったのですが、歴史博物館の講義もそうですが、ああいった講演や講義を聞くたびに、下関の歴史遺産のその重み厚みに変驚いています。是非これを子供達に教えてあげたいと思うけれど、なかなか難しいです。できたら、中学校の社会科の教員、小学校の社会科に関心がある教員を集めて研修会等を年に1度開いて啓発していくことが重要かなと思いました。是非これは進めてもらいたいなと思いました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。課長さん何かご意見ありますか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

先ほど、教育長の方からもご説明いただいたのですが、当日は130人を超える方に来ていただきまして、皆さん最後まで非常に熱心に聞いておられまして、質問もたくさん出て、予定を30分オーバーして5時に終わりました。その後のパネラーの方とか、コーディネーターの方ともお話ししたんですけども、かなり講演が盛り上がりおりましたので、是非、研究成果が蓄積された段階で続編でもやりたいねという話で、盛り上がったところでございます。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。

卵の化石、本当に素晴らしい化石で、現物がありますので、まだ行っておられない方は、早めに行ってください。卵は、いつまで展示がしてありますか。

沖吉洋一郎(文化財保護課)

来年の1月18日までです。

波佐間清(教育長)

来年の1月18日まで。子供達も冬休みに行けるといいなと思いますし、今、児玉委員の方からありましたように、先生方にこれを広めて、是非説明なり講話なりしてもらえると本当にありがたいなと。また計画を立てていただければと思います。よろしくお願ひしたいと思います。他に委員の皆さんで何かありますか。いかがでしょうか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは、ないようですので議題の方に入っていきたいと思います。

【議案審議】

議案第54号 平成30年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について

波佐間清(教育長)

「議案第54号 平成30年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について」、お願いをいたします。学校教育課、お願いします。

木下満明(学校教育課長)

学校教育課でございます。「議案第54号 平成30年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針」について、説明をさせていただきます。資料5ページをご覧ください。

山口県教育委員会の平成30年度人事異動方針を踏まえ、お示ししております下関市の方針を定め、人事異動を行って参りたいと考えております。昨年度からの変更点はありませんが、冒頭にお示ししておりますように、下関市の教育理念であります「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ともに学び ともに育み 未来を創る下関の教育～」の実現を目指して、組織力を強化し、家庭・地域と連携しながら教育力の向上を図ることを人事異動の基本と考えております。そのためにも、「教職員一人ひとりのキャリアビジョンや専門性、現任校の勤務年数及び各学校の教職員構成等を踏まえ、適切な配置に努めること」、「管理職の採用・昇任に当たっては、指導力を発揮することができる人材を推薦、選任すること」、「増加する新規採用者の計画的な配置に努めること」、さらに「小中学校間や特別支援学校との交流を推進することで、小中連携、特別支援教育の一層の充実を目指すことができる体制づくりに取り組んでいくこと」などを目指して考えております。以上、説明をさせていただきました。ご審議の程、どうぞよろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

ただいま、説明がございました。ご質問、ご意見があればお願いをいたします。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

1番に転任は原則として7年で行うとここに書かれていますが、この「原則として」はどの程度の縛りがあるのでしょうか。

波佐間清(教育長)

はい、課長。

木下満明(学校教育課長)

山口県教育委員会とすれば7年というふうな基本方針を定めて、人事異動を行っていくということが県から示された方針でございます。しかしながら、子供達の様子、学校の状況等を踏まえて、そのあたりは市教委とすれば柔軟に考えていく、併せて県教委の方にも状況を丁寧に説明して、学校が困らない、子供達が困らないように配慮をしていくという考えで進めていただきたいと思います。

波佐間清(教育長)

はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

わかりました。よろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

他の委員さんは何かございますか。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

他にないようでしたら、議案第54号については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい、それでは承認といたします。

【議案審議】

議案第55号 平成29年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして「議案第55号 平成29年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について」、お願いをいたします。教育研修課長。

三井清(教育研修課長)

教育研修課でございます。資料の6ページをお願いいたします。

「議案第55号 平成29年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について」説明をいたします。本件は、お手元の資料8ページにお示ししております、下関市立学校教材審査会規則第3条の規定に基づき、平成29年度下関市立学校教材審査会委員を委嘱するものでございます。教材審査会とは、下関市立小・中学校及び下関商業高等学校で使用する平成30年度用準教科書の使用の適否を審査する会でございます。ここでいう準教科書とは、小学校の体育科や下関商業高等学校の中国語や茶道等で使用する教科用図書のことでございます。審査をする際の基準につきましては、資料10ページの「下関市立学校教材審査基準」をご覧ください。委嘱する委員につきましては、7ページに「平成29年度下関市立学校教材審査会委員名簿」をお示ししているとおりでございます。下関市立学校教材審査会の委員につきましては、下関市附属機関設置条例において、その定数は12人以内とされております。また、下関市立学校教材審査会規則第3条において、教育関係者、学識経験者の中から教育委員会が委嘱するものとされております。こうした条例等の規定に基づき、名簿のとおり、学識経験者5人、教育関係者7人の合計12人を委員として委嘱するものでございます。なお、委員の任期としましては、下関市立学校教材審査会規則第4条の規定に基づき、平成30年1月1日から1年間としております。説明は以上です。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

波佐間清(教育長)

ただ今説明がございました。委員の皆さんの方で、何かご意見等がありましたらお願いをいたします。はい、林委員。

林俊作(教育委員)

学校教材は何の教材を審査するとおっしゃいましたかね。

波佐間清(教育長)

はい、教育研修課長。

三井清(教育研修課長)

下関市の小・中学校及び下関商業高等学校で使用する平成30年度用の準教科書の使用の適否を審査する会でございます。準教科書とは、小学校の体育科とか下関商業高等学校の中国語、茶道等で使用する教科用図書のことでございます。

波佐間清(教育長)

この中に下商も入っているということですね。

林俊作(教育委員)

下商に茶道とか華道とかっていう科目があるのですか。

波佐間清(教育長)

はい。正課でやっております。

林俊作(教育委員)

それともう1つ。お茶の先生は教授というのですか。

波佐間清(教育長)

位があるんですけれど、準教授とか、正教授など。

林俊作(教育委員)

先生というのは、実際は大学の先生のような教授とかそういう感じなのですか。

波佐間清(教育長)

それは、許状を取っていかないと。教授っていうのはかなり上の方です。そういう意味合いの教授と。大学の先生の教授とはちょっと意味合いが違います。教科書は、こちらが茶道でこちらの方が華道です。

林俊作(教育委員)

これが正規の科目として認められている。生け花とか。

波佐間清(教育長)

家庭科の中の1コマ。何コマかあって、その中で一緒にやっているという様なものです。他に
ご意見ございませんか。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理者)

教材の中で、保護者の経済的負担が十分考慮されたものでなければならないというところですが、どの程度のことが考慮ということになるのでしょうか。

波佐間清(教育長)

はい、教育研修課長。

三井清(教育研修課長)

他の教科書との比較等々で、他の教科書より特段値段が高くなるとか、そういうところは考慮する余地があると思いますし、また、例年と違った教科書を採用するという場合には、価格が前年度までと比較して適正かどうかということ判断します。

藤井悦子(教育長職務代理者)

ありがとうございました。

波佐間清(教育長)

よろしいですか。ありがとうございました。他の委員さん、ご意見よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではご意見が特にないようですので、この件について承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。それでは承認いたします。

【専決事項】

平成29年度教育予算の補正（12月）について

波佐間清(教育長)

続きまして、日程2の報告にまいります。専決の報告。「平成29年度教育予算の補正（12月）について」、お願いをいたします。教育部長。

萬松佳行(教育部長)

それでは、「平成29年度教育予算の補正（12月）について」ご報告をいたします。資料は11ページになります。この12月補正は、本来であれば議案としてご審議いただく案件ではございますが、日程の都合上、専決とさせていただいたものでございます。今回の補正の内容といたしましては、人事院勧告の反映による人件費の補正でございます。国におきましては、本年8月の民間給与との比較に基づく給与改定等の人事院勧告を受けまして、12月8日に国家公務員の給与法の一部改正法案が参議院で可決、成立いたしました。このため、本市におきましても、これに準じまして補正予算を定め、給与条例と退職手当条例の改正を行うために、市議会へ12月13日に補正議案の追加上程がなされまして、市議会の最終日であります19日に議決となったところでございます。主な改正の内容といたしましては、2点ございます。まず1点目は給料月額の上引きでございます。初任給及び若年層は1,000円程度の上引き、その他は400円程度の上引き。これによりまして平均での給与の改定率は0.2%となっております。2点目が期末勤勉手当の支給率の上引きでございます。これにつきましては0.1月分の上引きとなっております。続きまして資料の12ページをお願いいたします。こちらに補正の予算書を掲載しております。歳出 第10款 教育費は、1,464万6千円を増額補正しようとするものでございますが、このうち教育委員会所管分は、観光・スポーツ部所管分の129万6千円を増額を除きます、1,335万円の増額でございます。内訳といたしましては、給料が61万7千円。期末勤勉手当が1,076万円。それから給料、期末勤勉手当支給に係ります事業主負担分の共済組合負担金が197万3千円となっております。以下、項、目の順番でご説明をいたします。まず最初に第1項 教育総務費 第1目 教育委員会費は9万2千円の増額。第2目 事務局費は234万5千円の増額。第2項 小学校費 第1目 学校管理費は303万6千円の増額。第3項 中学校費 第1目 学校管理費は132万5千円の増額。第4項 高等学校費 第1目 高等学校総務費は261万3千円の増額。第7項 社会教育費 第1目 社会教育総務費は289万3千円の増額。最後に、第8項 保健体育費 第1目 保健体育総務費は、教育委員会の所管分は104万6千円の増額、これには観光・スポーツ部が入っておりまして、観光・スポーツ部が129万6千円の増額であります。あわせて234万2千円の増額でございます。報告は以上でございます。よろしくお願いたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がございました。委員の皆様、何かございますでしょうか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

特にならなければ、本件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

下関市生涯学習プラザの臨時休館について（報告）

波佐間清(教育長)

それでは次の、日程3の報告事項にまいります。「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」、お願いをいたします。生涯学習課長。

中嶋浩昭(生涯学習課長)

生涯学習課でございます。よろしくお願いいたします。資料につきましては13ページをお願いいたします。「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」ご説明いたします。平成30年2月23日金曜日を、中央図書館を含めた施設全体の消防用設備の点検を実施するため、臨時休館とすることとしたものでございます。生涯学習プラザ及び中央図書館の維持管理につきましては、指定管理者でございます公益財団法人 下関市文化振興財団が行っております。このたび、指定管理者からの申し出によりまして、消防法に基づく消防用設備の点検を実施する際、火災報知器の作動試験を伴うことから、安全な点検を実施するために、臨時休館が必要と判断したものでございます。なお、臨時休館日といたしました2月23日でございますが、中央図書館が下関市立図書館の設置等に関する条例に基づく定例の休館日となっております、これに合わせまして生涯学習プラザを臨時休館とするよう調整したものでございます。以上、ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、何かありますでしょうか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

定例の休館日と合わせて、消防の方の関係の点検をするということでもあります。それでは、これについては報告済みといたします。

【報告事項】

明治維新150年記念行事「史跡が語る幕末の下関」の展示開催について

波佐間清(教育長)

次に、「明治維新150年記念行事『史跡が語る幕末の下関』の展示開催について」、お願いをいたします。文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。よろしくお願いいたします。資料14ページをお願いいたします。それでは、「明治維新150年記念事業『史跡が語る幕末の下関』について」ご報告いたします。チラシをお手元に配布させていただいております。平成30年は、明治維新から150年となり、市を挙げて記念行事が開催されますが、考古博物館におきましては、明治維新関連の史跡を中心にした企画展を平成30年1月27日から3月31日まで開催いたします。タイトルは「史跡が語る幕末の下関 つわものどもが夢の跡」としてございまして、展示は3部構成といたします。第1部を「幕末前期から攘夷前夜」として史跡前田砲台跡の写真や、下関戦争で使用された砲弾などの遺物。それから史跡図面の他、攘夷戦に向け、海峡沿岸に存在した台場の説明などを行います。また、下関東ロータリークラブからお借りする長州砲のレプリカも企画展の期間中は常設展示をいたします。第2部は下関戦争前後から長府藩関連史跡を中心として、攘夷戦が差し迫る情勢の中で、内陸部に築城された勝山御殿跡の写真、遺物、復元模型の展示のほか、秋根土塁跡の写真や長府藩主毛利家墓所の写真等の展示を行います。第3部は明治維新直前から奇兵隊の拠点として奇兵隊陣屋跡の写真、遺物、陣屋の図面の他、奇兵隊の大田・絵堂の戦いにおける砲弾・銃弾などの遺物、写真、また、奇兵隊士をはじめ、多くの殉国の志士が祀られております桜山招魂場の写真、図面などを展示いたします。さらに奇兵隊陣屋跡の上空からの360度パノラマ映像で、発掘調査時の史跡の様子や、吉田の奇兵隊関連地をモニターでご紹介する予定でございます。関連行事といたしまして、企画展の開催中に展示解説会を1月及び3月に開催いたします。また、2月11日には勝山地区まちづくり協議会との共催によりまして、勝山公民館におきまして、展示している史跡に関連した講演会「幕末騒乱を記憶する史跡」を開催し、文化財保護課及び歴史博物館の学芸員が講演をする予定でございます。明治維新时期における長州藩の動きが良く

理解できる展示内容になりますので、是非多くの方々のご来館をお待ちしております。以上、報告いたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がございました。手元にこのパンフレットもあるかと思いますが、これについて、委員の皆さん何かご意見がありましたらお願いをいたします。特にございませんか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

特にないようですが、これは「史跡が語る」ということで、また歴史博物館とは違った視点で開催をされるようでありますので、またそういう意味での幕末を感じ取っていただければと思いますので、よろしくをお願いをいたします。文化財保護課と歴史博物館が共同でまちづくり協議会と一緒に講演会もされるようですので、2月の11日、皆さん方もどうぞご参加いただければというふうに思います。それではこれについては報告済みとしてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、報告済みといたします。

【報告事項】

企画展「交流する神々・『浜出祭』の原点」の共同開催について

波佐間清(教育長)

続きまして、「企画展「交流する神々・『浜出祭』の原点」の共同開催について」をお願いいたします。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、館長お願いいたします。

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

資料は15ページになります。今回、「企画展「交流する神々・『浜出祭』の原点」の共同開催」につきまして、ご説明をさせていただきます。来年の平成30年4月1日には、7年に1度開催される豊北町最大の民俗祭礼行事であります「浜出祭」が開催となります。この「浜出祭」は、山口県の無形民俗文化財に指定されている祭礼行事でございます。今回の企画展につきましては、この「浜出祭」がどのような祭礼行事であるのか、その由来に関する伝承を文字資料、あるいは民間伝承を中心にいたしまして、「浜出祭」に纏わる様々な謎を解き明かして、その祭りの原点について考えてみたいということで企画をいたしました。会場を今回は豊北歴史民俗資料館と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの2ヶ所に設けて開催いたします。豊北歴史民俗資料館では、主に田耕地域からみた「浜出祭」の行列を中心に伝承とその祭りの移り変わりについて展示をいたします。また、人類学ミュージアムでは、ここは祭礼行事が行われる場所ですが、神玉地域の伝承からみた「座」の祭りを中心に、土井ヶ浜の伝承と「浜出祭」の関係について展示をしていきたいと考えております。展示資料につきましては、年代はよくわからないのですが、恐らく江戸後期から明治初期に描かれたと思われております「浜出祭絵巻物」をはじめ、戦前から平成23年までの記録写真等の「映像」資料を通しまして、地域の人々の手によってこの「浜出祭」の祭りがどのように維持されてきたのか、また、この祭りがどのように変化をしてきたのかということを見ていただきたいと考えております。この企画展示を通じまして、この「浜出祭」を未来に継承していくためにはどうしたらよいのかということ、地元の人たちを交えまして、考えていきたいと考えております。会期につきましては、来年の1月16日から5月6日までを予定しております。会場は先ほど申し上げましたように、豊北歴史民俗資料館と土井ヶ浜遺跡・人類学ミ

ミュージアムの2か所で開催をいたします。この企画展に伴いまして、関連行事といたしまして、講座を1つ計画しております。「豊北町と浜出祭」というタイトルで、1月21日、豊北歴史民俗資料館で講座を開催いたします。それから、展示の解説を3月11日に人類学ミュージアムと太翔館の両方で、担当学芸員による展示の見どころについてお話をさせていただくことにしております。以上で報告を終わります。

波佐間清(教育長)

ただいま、報告がございました。委員の皆様、何かございますか。はいどうぞ、伊東委員。

伊東まさ子(教育委員)

こういう民俗行事が、休止・廃絶という危機に直面しているタイミングですけれども、この「浜出祭」については、今までずっと7年に1度毎回行われてきたのかということと、今回にあたっては関連行事に力を入れていらっしゃるようですけれども、7年前の時もこういう企画展なりが行われて、効果があったのかということをお聞きしたいと思います。

波佐間清(教育長)

はい、館長さん。

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

これは田耕地区から花巫女が出ます。それから、土井ヶ浜にあります神功皇后神社、そこからも花巫女が出ます。その田耕地区と神玉地区の両方の皆様方がこれまで「浜出祭」を絶やさないための努力をされてきて現在まで続いています。7年前は、ちょっと私も記憶がはっきりしないですけど、土井ヶ浜の方では確か浜出祭の写真パネルによる展示をやったように記憶をしております。申し訳ありません。

伊東まさ子(教育委員)

ありがとうございます。

波佐間清(教育長)

7年前の時に、展示会については私ものはっきりとは記憶をしておりませんが、人類学ミュージアムの前で、この「浜出祭」の大きな行事がありました。豊北の皆さんにとっては、この「浜出祭」の行事というのは7年に1度ですから、大変大きな行事でありまして、また、多くの方もこれに参加をされ、馬とか、それに対する道具類等も朽ちてくるとまたそれを買替えたり、補助したりということで、非常に大きな神事ですので機会があれば、4月1日に行われるということですね。皆さん方も、ここに今、企画展が書いてありますので、今年は2会場で太翔館と人類学ミュージアムの方でそれぞれ開催されるようですし、また講座もあるようですので、関心を持って見に行かれたり聞きに行かれたりしていただければと思います。他に委員の皆さん何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

7年に1度しかありませんので、是非見に来てください。それでは、これについては報告済みといたします。

【その他】

波佐間清(教育長)

それでは、日程4その他でございますが、委員の皆さん何かございますか。伊東委員さん、お願いいたします。

伊東まさ子(教育委員)

3つほどお知らせさせてください。12月10日に古川薫先生の「維新の商人(あきびと)」と
いって、毎日新聞社から連載された本ができたということで、出版会にご案内いただきました。
毎日新聞社の方と昔から交流されてきた文化人の方々の少ない会だったんですけれども、私は古
川先生が「ツィゴイネルワイゼン」が好きだということで、「是非弾いてくれ」ということでお呼
びいただいて盛會に会が終わりました。古川先生も2時間だけということで、奥様と一緒に参席
されて、とても楽しそうにしてらっしゃいました。もしよろしかったら皆さん読まれてください。
私も今読んでいますけれども、白石正一郎日記を紐解いて完結ですけれども、凄く躍動感あふれ
る文章で、ワクワクしながら読んでいます。是非読まれてください。

16日はシーモールのイベントで、下商の生徒さん達が販売していらっしゃる所にちょっと伺
いました。とても熱意を込めて販売されていて、見ていて頼もしいなと思って、2つほど購入し
て帰りました。

その後は福岡の方に行きました。夏の教育祭で講演された白駒妃登美さん。あの方の講演に凄
く感銘を受けたので、あの講演の後に個人的にフェイスブックのメッセージでお手紙を差し
上げたら返信がきまして、「幸せの神様に愛される生き方」という本を出されたということで、出
版記念会が16日に福岡であるから来てくださいということで伺いました。その後、懇親会もあ
りまして、皆さんと和やかに過ごさせていただいたのですけれども、彼女の講演もまた素晴らし
くて、色々勉強になりました。また皆さん良かったら彼女の本も読まれてみてください。以上、
報告です。

波佐間清(教育長)

はい。古川先生の本、白駒さんの本、そして下商のイベントに行かれたということ。下商、何
かイベントの報告がございますか。これだけ儲かりましたとか。

富田智雄(下関商業高等学校事務長)

金額は決算を見ないとわかりませんが、全て完売したということを知っています。皆
さん、ご協力ありがとうございます。

波佐間清(教育長)

完売ということは、儲かったということで大変良かったと思います。協力された皆様方、あり
がとうございました。その他、委員の皆さんはございますか、報告等。事務局の方向かございま
すか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので、次回の日程をお知らせいたします。1月の教育委員会定例会は1
月24日水曜日午前9時半から、教育センターの3階この部屋で開催予定になります。委員の皆
様よろしいでしょうか。

(はい)

【閉会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。それではこれで定例会を終了したいと思います。
お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員
